

TOPICS.1

第25回 定時株主総会開催

去る6月13日(金)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席をいただき、第25回定時株主総会を開催いたしました。

当日は、第24期(2024年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件など全5議案について審議、全て原案通り承認されました。

なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。



挨拶内容

各金庫総代会でお忙しい中、ご出席誠に有難うございます。昨年からの1年間、世界も日本も、身の周りも、数々の出来事がありました。日々ニュースで報道されているような話題は挨拶として割愛させていただきます。

一般の当社取締役会で、残念ながら帯広信金高橋理事長と日高信金大沼理事長から、当社取締役ならびに監査役の辞任の申し出を受けまして、交代ということになりました。両理事長には、長きにわたり温かいご支援ご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

毎年この時期は、懇意にいただいた理事長や役員の方が変わられ非常に寂しさを感じる時です。私事で恐縮ですが、当社社長を任せていただき今日で丸6年となりました。この間、顔ぶれは続々と変わってきたわけですが、振り返ると、これまで色々な会議・会合の場において、いつも自分は最年少に近いところにいたのは事実で、どこでも「若いね」と言われていた自分が、気付くと還暦の年になり、全然若い部類に入ってきたのは驚くことでもあります。

役員に限らず、昔を振り返ると当社もシステム専門委員会や企画委員会など種々システムを議論する委員会活動を実施し、その末端で私も数々の人との出会いを経て、自分なりの人脈を作り今に至っておりますが、時代の流れと共に人の気質も随分変わってきていることを痛切に感じています。

昔はシステム専門委員会でも、いわゆる「親分肌」の人が数多くいて、高いプロ意識と信念のもとに、責任をもってある程度その場で方向性が決まるものが多くあったと思います。良い意味で「この分野は俺に任せろ」という気概を感じる人がたくさんおりました。もちろん、昔だからそんな人ばかりとは言いませんし、その当時から親分肌でもないのに親分肌だけは吹かす人や、意味の違う親分肌もいましたから、それはいつの時代でもいる人間ですが、今は尊敬できる本当の意味でのリーダーが少なくなって、ましてこれから、お世話になった諸先輩の皆様がどんどん世代交代でいなくなっていくことは、心からの寂しさと、今後を憂う気持ちとが重なり残念でなりません。

いつまでも自分が若いわけでもなく下っ端なわけでもありませんから、少なくともこれから残りの時間は、自分が尊敬した諸先輩の姿を後進に伝えていかなければならない、浪花節が通用しない世知辛い世の中にはなりましたが、少しでも自分が良い意味での親分肌になって、上手に

引っ張っていかなければならないと思う今日この頃です。

一応、システム会社の人間である私が、デジタル的なものをあまり好まず、浪花節だの義理や人情の重要性をいつも語るのには違和感があるかと思いますが、それはどうしても「便利さの先にあるもの」を考えてしまうからです。

例えばこの仕事をしていると、今はトレンドなので仕方ないかもしれませんが、口を開けばAIの話題が避けられません。AIを使えなければ自分は後れを取っていると思うのでしょうか。ただ、AIの利便性は皆さん語りますが、AIを動かすのに莫大な消費電力がかかることは、あまり話題にはなりません。

ご存知のとおり、AIの普及によってデータセンターの電力消費量は莫大に増加しています。色々な報告はありますが、来年までに2022年と比較しても2.2倍に達するとか、その後の予測は怖くなるような倍増の仕方です。大規模言語モデルのBLOOMは、「未来を切り開く」など夢のように言われていますが、これが言語を学習している最中に排出しているCo₂の量は25t、これは平均的なアメリカ人が1年間に排出するCo₂量の1.4倍、飛行機が札幌～沖縄を2往復する時に排出する量の25倍に当たるといわれています。そして、その際の消費電力量は途方もない大きさで、加速度的に電力を食い尽くしていく。AIが奪うのは、仕事ではなく電力だと言われてます。そして延いては地球環境です。

なぜそこにはあまり目を向けられないのか。SDGsのバッジをつけ、原発再稼働を反対しながら、そういう意識が無い人はあまりに多いと思っております。

明治時代の政治家で、日本初の公害と言われる足尾銅山鉱毒事件の直訴など命懸けの環境保護運動をした田中正造は「真の文明は、山を荒らす、川を荒らす、村を破らず、人を殺さざるべし」という言葉を残しています。この名言を真理として、便利さと引き換えにしているもの、本当にどこまでを必要とし、人は満足するものなのかを考えていたいと思います。無論、先進技術を否定するものではありませんが、先月亡くなったムヒカ元大統領の言葉も同様、人類が心に留めておくべき金言であり、常に念頭に置いておくべきだと思っています。

AIを推進する側の挨拶としては相応しくない話だったと思いますが、私個人の考えとしてお話をさせていただきました。

共同利用型電子閲覧サービスの提供について

顧客へ紙で交付している各帳票を電子化し、WEBで閲覧できる「共同利用型電子閲覧サービス」について、ご紹介いたします。

提供のスタートとして、共同加盟金庫向けDM「手数料のお知らせ(インボイス)」の取扱いを開始いたしますが、今後、ご要望の多い帳票について追加するなどサービスの拡充を行って参ります。

また、自営金庫帳票を含む金庫独自帳票への対応も可能なシステムとなっておりますので、この機会に是非とも本サービスの導入をご検討いただきますようお願い申し上げます。

提供開始時期について

本サービスは本年3月より提供することでご案内し、システム開発を完了していたものの、全国の業界システム関係組織との間で調整が必要な情勢となったため提供を延期しておりましたが、この度、業界内における同サービスの提供方針について整理がつかまりましたので、改めてサービス提供を開始する運びとなりました。

なお、具体的な開始時期は、希望金庫との調整となりますが、本年9月頃を見込んでおります。

サービスの特徴

●事務負担の軽減

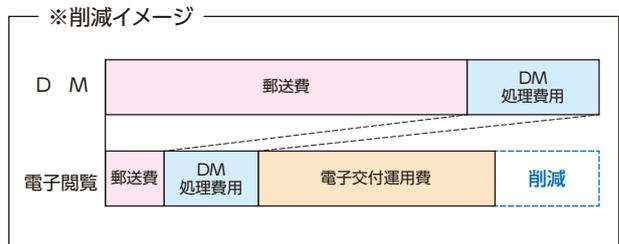
各帳票の作成データを基に、電子帳票の作成からWEBシステムへのアップロードまでを一括で行うことで、金庫の事務負担を軽減します。

●エコロジー

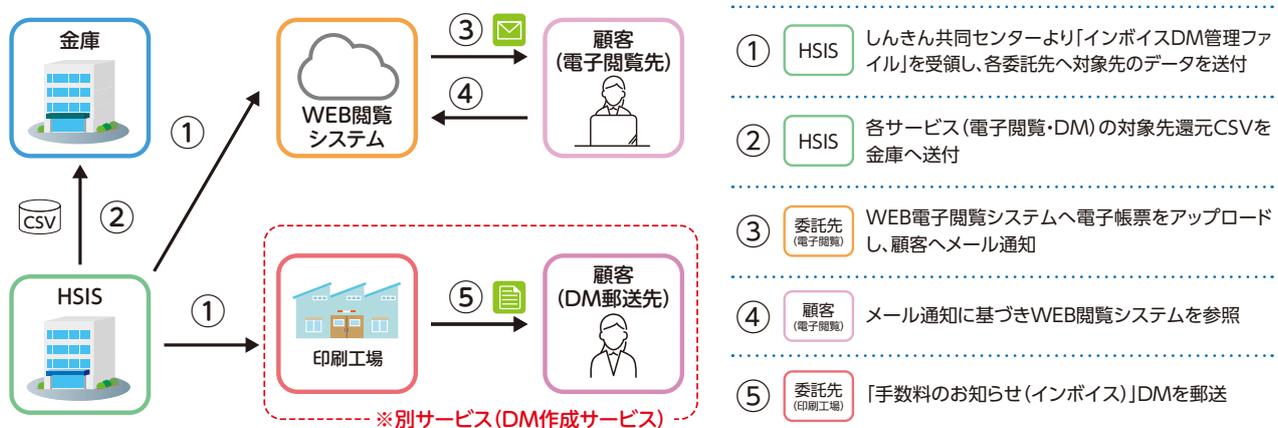
ペーパーレスとして環境保全に繋がります。一例として、はがき20万通、封書2万通を電子化すると、原紙1.2tを削減できます。

●コストダウン

郵送料が大幅に削減されることから、各帳票の顧客通知にかかるトータル費用について削減できます。



提供イメージ 「手数料のお知らせ(インボイス)」DM



本サービスにご興味をお持ちの金庫様は業務課(企画・営業推進担当)までお気軽にお問合せください。

☎011-221-2210

第22回 システム検討委員会

2025/4/25(金)開催

議 題

- ① 相続BPOの検討状況について
- ② 共同利用型電子閲覧サービスと事業者WEBについて
- ③ 為替集中システム 登録式振込依頼書の印刷・発送方法のアンケート結果について(その3)
- ④ FileZenのご紹介
- ⑤ 自動機集中監視サービス昼休み時間帯監視について
- ⑥ 補助金クラウドのご紹介
- ⑦ 安全に利用できる生成AIとは
- ⑧ 生成AI ChatGPTサービス「CHAT GEAR」のご紹介
- ⑨ 情報交換書による意見交換
- ⑩ その他



16金庫19名にご出席いただき、全10件の議題について会議を行いました。



自動機集中監視サービス 昼休み時間帯監視の開始について

当社では、本年6月2日(月)より、お昼休み時間帯の自動機監視を開始いたしました。

近年、働き方改革や人員不足等により、お昼休み時間帯の窓口業務を休業する信用金庫様が増えておりますが、本時間帯においてもATMコーナーからのお問合せやATM故障の対応等が必要となる場合もあるかと存じます。

本サービスをお申込みいただくと、お客様からの電話対応はもちろんのこと、遠隔操作で対応可能な故障対応等を行い、職員様の負担軽減を図ることが可能となりますので、何卒導入をご検討いただきますようお願い申し上げます。

サービス内容

- お昼休み時間帯の自動機監視及びお客様対応(監視時間例:12時~13時)
 ※1時間単位でお申込可能。
 ※基本監視を行っている店舗を前提とします。



本サービスにご興味をお持ちの金庫様は自動機監視室(山本、窪地、神谷)までお気軽にお問合せください。

☎011-233-1239

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811